

**議員** NPOやベンチャー企業では、マネジメン卜力不足が大きな課題である。支援策として、地域の人材を活用する登録制度の運用が必要だ、取り組みを聞く。

**市長** 市民協働センターで登録制度を開始し、マネジメント支援を図っている。

**議員** 地域コミュニティの活性化には、地域と連携した取り組みが有効だ。コミュニティ・センターの施設をコミュニティビジネスに活用できないか。

**市長** 収益事業には施設を提供できない。連携のあり

### 「食育」の普及・啓発で子どもの健全育成を



政新クラブ 伊藤 俊明 議員

**議員** 最近子どもを取り巻く環境は、ますます悪化し少年非行も多様化・深刻化している。この要因として、朝食の欠食など食習慣の乱れが指摘されている。すでに欧米では定着している「食育」を早急に導入し、子どもの食生活の改善を図るべきだ。①平成17年7月食育基本法が施行された。食をめぐる現状と課題についての認識を聞く②本市は食育推進基本計画の策定を検討しているか③食習慣と学力、非行との関係を知りたい④食習慣の乱れと、食の安全問題の台頭も背景にある。食を選択する力を習得する食育が必要だ⑤国や都の動向を踏まえ、検討したい⑥学力低下や非行を招く要因の一つと考える。

**議員** 学校での食育の推進方については、今後の検討課題になると考える。

**議員** シニアSOHO普及サロン・二鷹に蓄積されたノウハウを、地域の他の組織にも広めるべきだ。普及のための施策を示す。

**市長** 市内の組織に普及させる方策について、検討をしていきたい。

**議員** 市の業務の委託等によって、コミュニティビジネスを行う事業者の自立を促進すべきではないか。

**市長** これまで積極的に発注等を行ってきた。今後も支援策を検討していく。

### 市民の健康増進を積極的に推進せよ



政新クラブ 後藤 貴光 議員

**議員** 健康の維持・増進には、何よりも自己の健康管理が重要である。子どものうちから能動的な健康管理の習慣づけをサポートする施策に、一層取り組むべきだ。また、小・中学校における「健康の記録」が卒業を機に途切れることなく、継続性のある記録として、市の健康診査等に活用されるよう、関係機関と連携する体制を検討せよ。

**教育長** 記録を保健学習の中で活用している。より一層、自己の健康管理ができるよう指導していきたい。

**議員** 都内のある歯科医師会では、大学の歯学部と連携し、本来一万円近い口腔がんの検診を、患者負担800円と歯科医師会負担の数千円で行っていると聞く。市民の健康増進につながる、研究にも役立つ連携を、本市でも率先して模索し、推進すべきだ。

**市長** 現在、前立腺がん検診で、市が補助を行い、不足を三鷹市医師会が負担している。今後こうした連携には意を用いる。

**議員** 平成18年度から、介護予防事業を推進する。課外防犯事業を推進する。課題は引きこもりがちな高齢者の健康増進で、地域団体・診療所等との連携が必要だ。また、事業の委託においては、その効果を見極め、既存組織に限らず門戸を広げ、競争性を担保せよ。健康福祉部調整担当部長

### 地域に開かれた学校教育を推進せよ



政新クラブ 荒戸 治重 議員

**議員** 社会の多様化・高度化・情報化に伴う子どもの変化や、教育が抱える様々な問題を解決するには、生きる知恵と人間性を豊かにする教育が必要である。そのためには、学校を地域に開かれたものとするとも、学校の経営責任を明らかにする観点が必要だ。今後の教育制度のあり方、社会が求めている教育のあり



市民の日常的な健康づくりを支援している三鷹市総合保健センター

### 「コミュニティ行政と協働のあり方」を問う



政新クラブ 石井 良司 議員

**議員** 本市のまちづくりの施策や事業の体系として、住民協議会によるコミュニティ行政は地域型であり、白紙からの市民参加方式の「21会議」はテーマ型で取り組んできた。コミュニティ行政は、「21会議」などを包含しつつ、協働へと進んだ。①「21会議」による市民参加方式の検証と、協働の関係について聞く②協働を進める上で、市民の担う責任の考え方を伺う。

**市長** ①三鷹市の市民参加と協働のまちづくりには、住民協議会の実践が大きな役割を果たしている②ケース・バイ・ケースである。議員 コミュニティ行政と協働をどのようにリンクさせるか、取り組みを示す。

**市長** 井の頭住民協議会を住民が情報共有し学校運営に参画していくには、評価委員会の機能を生かし、外部評価の活用を図っていく必要がある。所見を示す。

**教育長** 評価委員会の機能の改善や外部評価結果を教育内容等の改善に反映できるように指導していきたい。

**議員** 学校運営連絡会と異なり、責任と権限を与えられた学校運営協議会のあり方と、それともう一方の学校評価、外部評価のあり方についての考えを聞く。

**教育長** 保護者・地域の意向を把握し適正に評価できるように充実を図りたい。

### 市は主体性を持って三鷹を活性化せよ



政新クラブ 榛澤 茂量 議員

**議員** 行政の役割転換により、市は総合的なコーディネート機能(調整機能)を重視するとしているため、市としての主体性と責任が薄れることが懸念される。三鷹市の活性化に向けた事業や施策を進める上で、市が主体性と責任を持つべきだと考える。所見を問う。

**市長** 行政サービスの質を高めるには、行政がコーディネートに役割を果たすことが必要だ。市民、事業者、NPOとの協働や事業委託を適切に進めていきたい。

**議員** 旭川市立の旭山動物園が経営危機の時、職員自らが必死に打開策を考え、全国的に有名な観光地にした事例がある。商工振興推進に向けて、職員が熱意を持って積極的に取り組むことが大事だ。見解を伺う。

**市長** コミュニティ行政とNPO等の新しい潮流が融合し、協働のまちづくりは力強く進むものと考ええる。

**議員** 三鷹市の協働のあり方、マニュアルづくりは重要だ。進捗状況を伺う。

**企画部長** 平成17年度中に策定するために、現在、調査・検討を進めている。

**議員** 市民協働センターの企画運営委員会では、協働の支援、推進のあり方の研究・調査は進んでいるか。

**生活環境部調整担当部長** 三鷹市が作成する協働マニュアル(仮称)の中に織り込めるよう、進めている。

### 子どもの居場所づくり学校・地域で支援体制を



公明党 川原 純子 議員

**議員** 子どもたちを、生き生きと学校や地域で大きく育てたいという、子どもの居場所の観点から伺う。中学校の部活動について、①学習指導要領には示されていないが、存続させることが必要と考える。体系的な位置づけについて所見を聞く②廃部を余儀なくされる原因はなにか③顧問教師が土・日曜日に指導した場合、休日の変更等の配慮をすべき④部活動の指導を、業績評価に反映させているか⑤本市は外部指導員を配置している。課題を伺う⑥インターンシップを部活動の指導者に活用できないか。

**教育長** ①子どもの居場所という視点と、教育活動の一つであるという認識を立一つ、一部活動検討委員会を設置し、改善充実に向け検討(6)面へ続く